

阿蘇市の保育園、小中学校の耐震は大丈夫か

田 中 弘 子



田中 老朽化、また耐震強度に問題のある学校の対応について。

教育長

新聞に載つていたように、IS値（構造耐震指標）が0.3を下回る所が2棟あります。それとは別に、体育館1棟が該当するのではないかと調査中です。学校規模適正化審議会の検討の結果を見て、阿蘇市にどういう学校配置が必要なのか、どういう規模の学校を造っていくことが必要なのか、今後の課題となります。

教育長

耐震強度を調べているのは、昭和56年以前に建つた校舎です。57年以降は基準を満たす工事がなされていると思います。

田中

阿蘇山上のスキー場跡地について、閉ざされた物件は景観にも合わないし、防災施設だけの用地であれば別の場所に移転しても良いのでは。

吉良商工観光課長

平成18年度から、地元牧野、観光関係者並びに行政機関で、火口周辺の観光振興に行はれています。



跡地利用検討中の阿蘇山スキー場

いて協議を行っています。スキー場については、最近の観光ニーズに合わない、経営的に苦しい等の理由により、廃止することとなっています。地元には、市から310万円支払っています。その関係もあり、何らかの施設として存続できないかと要望されていますので、ただ今検討中です。

国民健康保険税を 一世帯当たり2万円引き下げよ

川 端 忠 義

医療費の上昇が見込まれ、特定検診や後期高齢者支援金の増額などに基づいて、金は必要です。



川端

阿蘇市の国民健康保険税は、阿蘇郡市では2位の高さである。一方、阿蘇市の保険税の滞納額は約3

億2千万円で、10年間で1・9倍に増えている。この原因は、保険税の負担が重すぎるからではないのか。

江藤市民部長

医療費が右肩上がりで、県内でもトップ10に入るくらい医療費が高いという面があります。

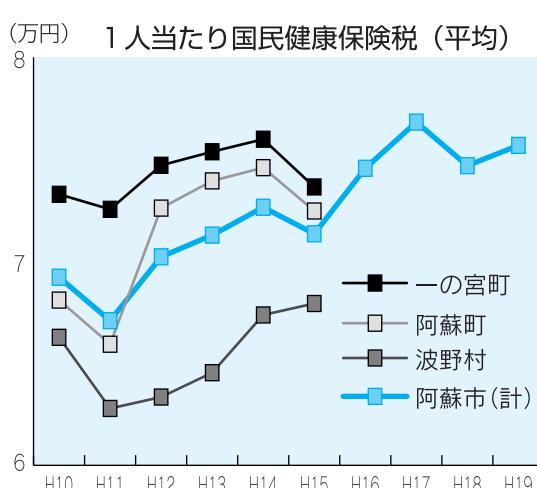
川端

保険税が高すぎるから払えない。払えないから滞納額が増え、

国との交付金も減らされる。また、保険税を引き上げるという悪循環である。それで、4億4500万円の国保基金（一世帯当たり約6万8千円）から、一世帯当たり2万円（今年度）の引き下げを提案する。2万円引き下げる。国保基金は3億円以上あ

る。市長の政治的な判断はどうか。全体的な流れで、このことについては慎重に取り組み、できるということであれば、それを提案するかもしれません。

市長



今後どうなる大蘇ダム

靈園について



市原正次

うことになります。ただし、県営事業については、個人の引き込み管を設置する場合、当初通り1基当たり6千円程度の農家負担が発生します。

市原 今後、農家負担分、市の負担分の軽減を、是非国や県にお願いしたい。

市原 大蘇ダムについて、熊日新聞が連載で載せていたが、九州農政局が、貯水池の水が想定をはるかに上回って地下や側面に浸透しているため、利水の計画は確保できない。また浸透が想定の16倍。農水省が、2月に工期が再度延びると発表したが、今後水はどうなるのか。また工期はどのくらいかかるのか。

渡邊経済部長

九州農政局より2月26日に阿蘇東部農業開発推進協議会に説明をして、貯水池から地山への浸透が見られ、その関係で、試験

他に「肥料の高騰について、国県市の助成または補助はないか」について質問がありました。

農業委員会事務局長

耕作放棄地、案件も含めて、毎年、年2回広報等で掲載をしています。

野田

無断で、畑や宅地に墓が建

農業委員会事務局長

つてていると思うが。

農業委員会事務局長

今後、一筆調査等実施しながら、関係各課と協議して、指導したいと思います。

野田

阿蘇市も高齢化社会に入っ

ては、まだ明らかになつていません。工期が延びれば、農家負担

は増えるのか。

経済部長

国営事業については、平成3年に第1回の変更があつており、その時点では農家負担は無しとい



漏水対策を検討中の大蘇ダム



野田好一

当然必要であろうと思いますが、市の靈園というのは考えていません。

山部市民環境課長

墓地経営主体は、市町村が原則です。永続性・非営利が求められる墓地経営は、儲かるためにはしてはならないという法

があります。

野田

大観峰付近で、散骨する人がいると聞いたが、市としてどんな対応をしているのか。

園田農業委員会事務局長

農地法第4条、5条の転用について、顛末書、始末書が添付されている案件が、4月に5件、5月に3件ありました。

野田

転用のための必要な手続き等を、農家に指導しているのか。

農業委員会事務局長

無断転用、



適切に整備された霊園